
グリーンカーテンに関するアンケート結果

2014年3月

環境省

目次

I.	調査の目的	02
II.	調査結果の概要	04
III.	1次調査の結果	07
	III-1. 実施概要	08
	III-2. 集計結果	10
IV.	2次調査の結果	16
	IV-1. 実施概要	17
	IV-2. 集計結果	19
	(1) 対象： 全対象者	20
	(2) 対象： 昨夏のグリーンカーテン実施者	27
	(3) 対象： 過去のグリーンカーテン実施者	32
	(4) 対象： グリーンカーテン未実施者	37

I . 調査の目的

調査の目的

- 窓を植物で覆うことで夏の直射日光を遮り部屋の気温を下げるグリーンカーテンは、東日本大震災後に節電対策として従来以上に注目が高まり、学校などの公共施設だけでなく家庭でも取り組まれるようになってきた。環境省では2011年から「グリーンカーテンプロジェクト」を実施し、グリーンカーテンの普及推進を図ってきたところである。
- グリーンカーテンを幅広く普及させていくためには戸建住宅・集合住宅双方での普及が不可欠であるが、比較的自由に植物を育成できる戸建住宅に対し、マンションなどの集合住宅は戸建住宅に比べて植物の育成が難しく、家庭でのグリーンカーテン普及のネックとなっている。そこで、集合住宅におけるグリーンカーテン実施の実態とグリーンカーテンの普及に必要とされる条件等を把握するため、集合住宅居住者を対象としたアンケート調査を実施した。
- アンケート調査は**1次調査と2次調査の2段階で実施**した。1次調査はグリーンカーテンの認知度や実施状況を把握するため、及び2次調査の対象者を確保するために行った。2次調査は1次調査の回答者から**グリーンカーテン育成経験者と未経験者を同数ずつ抽出し、グリーンカーテン育成経験者を現在(昨夏)のグリーンカーテン実施者と過去のグリーンカーテン実施者に分けた上で、グリーンカーテン実施のために必要とされる条件などのグリーンカーテン育成に関する意識について質問**を行った。

	対象	調査内容
1次調査	全国の集合住宅居住者	グリーンカーテンの認知度、実施状況、など
2次調査	全国の集合住宅居住者 (1次調査回答者から抽出)	グリーンカーテン実施のために必要とされる条件、 育ててよかった点・困った点、など

Ⅱ. 調査結果の概要

1次調査の結果概要

- **グリーンカーテンの認知度は約8割**と高かった。特に60歳以上で認知度が高くなっている。
- グリーンカーテンを昨夏に育てた人の割合は**約1割に過ぎず**、過去に育てたことがある人と合わせても、**育てた経験のある人は約2割程度**であった。また、年代が高くなるにつれて育てた経験のある人も多くなっている。
- **グリーンカーテンに少しでも関心がある回答者は5割程度**存在した。特に60歳以上で関心は高くなっている。

2次調査の結果概要

- グリーンカーテンで多く育てられている植物はゴーヤとアサガオであった。
- グリーンカーテンを育てて良かった点としては、「植物の栽培を楽しめた」、「植物により癒やしを得た」、「直射日光を遮ることができた」など、**節電の効果より精神的な満足感や生活面での効果**が多く挙げられていた。昨夏の実施者では、50代、60歳以上でこれらを挙げる回答者が30歳未満、30代と比べ多かった。30歳未満では「電力消費量・電気代が減った」という回答が他の年代に比べ多かった。
- 昨夏にグリーンカーテンを育てた回答者が感じた困った点・煩わしかった点と、過去に育てた回答者がグリーンカーテンを止めた理由としては、「育てた後の植物・土の後片付けが面倒・大変だった」ことと、「うまく育たなかった」ことが多く挙げられていた。また、過去に育てた回答者では選択肢以外の「その他」（引っ越しをした、忙しくなり時間がなくなった、育てる場所がなくなった等）という回答も多かった。昨夏にグリーンカーテンを育てた回答者では、「うまく育たなかった」は30歳未満と30代で多く、「育てた後の植物・土の後片付けが面倒・大変だった」は40代で多かった。過去に育てた回答者では、「うまく育たなかった」、「育てた後の植物・土の後片付けが面倒・大変だった」は30～50代で多かった。**いわゆる働き盛りの年代や子育てを行っている年代で後片付けを面倒・大変だと思っている回答者が多くなっている。**
- グリーンカーテンを育てない理由としては、**興味・情報の不足やコストより、設置時・育成時に発生する問題や手間・煩雑さなどが多く挙げられている。**なお、育ててみたい植物ではアサガオ、キュウリ、ゴーヤが多かった。
- 昨夏にグリーンカーテンを育てた人は8割近くが来夏もぜひ育ててみたいと回答しており、**条件があれば育ててみたいという回答と合わせるとほぼ100%に達していた。**一方、過去に育てた人の約7割、これまで育てたことがない人の5割以上が「条件があれば育ててみたい」と回答しており、**条件によりグリーンカーテンの実施を決める人が多いことが示唆された。**年代別では「ぜひ育ててみたい」という回答は30歳未満で少なく、60歳以上で多くなっている。
- グリーンカーテン育成のための条件としては、「プランター、ネット、種、土等の資材の提供」、「グリーンカーテンの利点や楽しみ方、栽培方法についての情報の提供」、「植物が枯れた後の処理や廃棄のサポート」が多くの回答者から求められていた。ただし、年代が高くなるほど特に育成のためのサポートを必要としない傾向にある。

III. 1次調査の結果

Ⅲ-1. 1次調査 実施概要

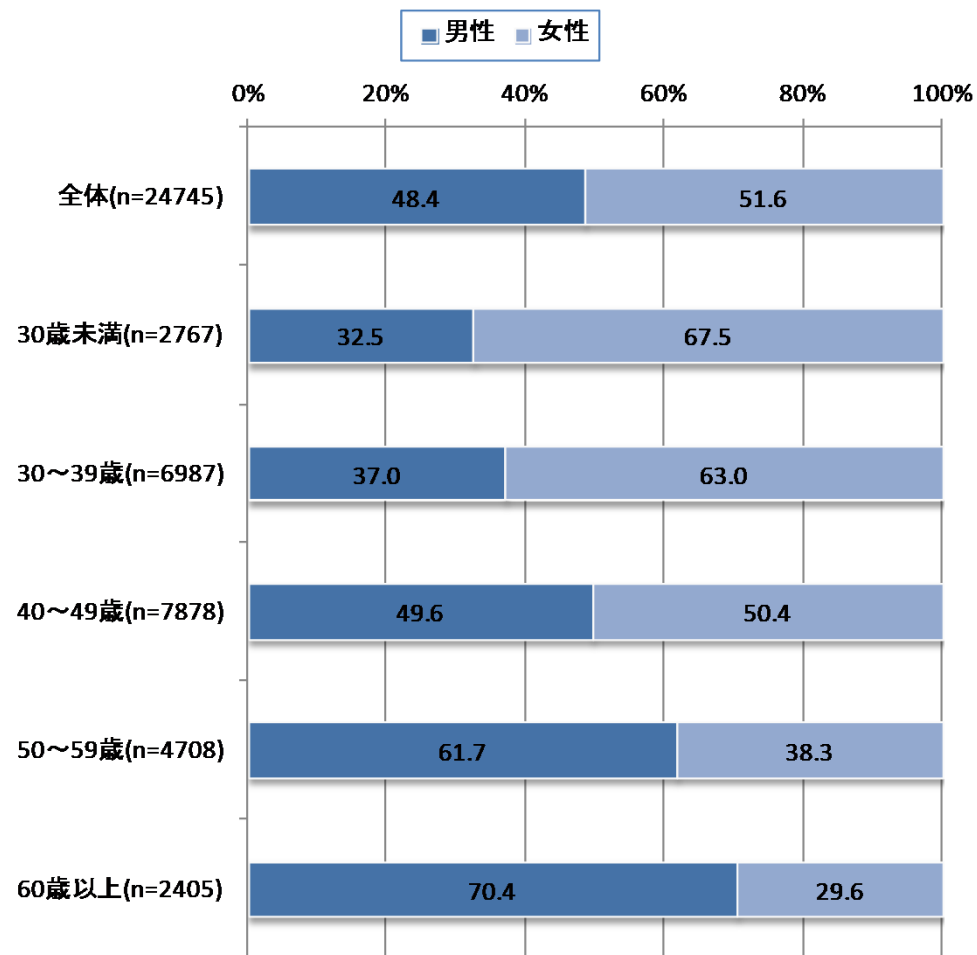
実施概要

- 目的： グリーンカーテンに対する認知度、育成経験の有無、関心の有無を把握するために実施
- 実施期間： 2013/11/6～2013/11/11
- 対象： 全国の集合住宅居住者
- 回答数： 24,745人
- 調査方法： インターネット調査

Ⅲ-2. 1次調査 集計結果

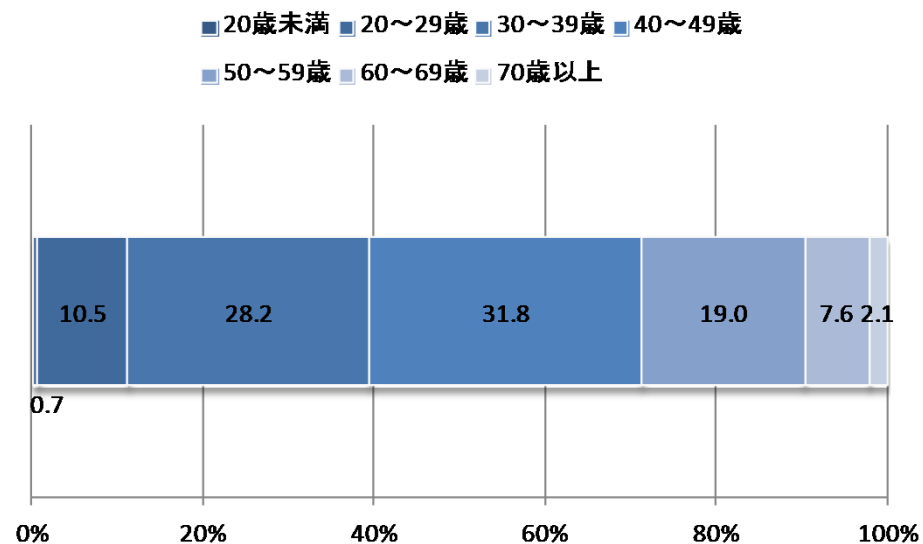
性別

- 全体では男性が48.4%、女性が51.6%となっている。
- 年齢が上がるにつれて男性の割合が高くなっており、60歳以上では70.4%が男性となっている。



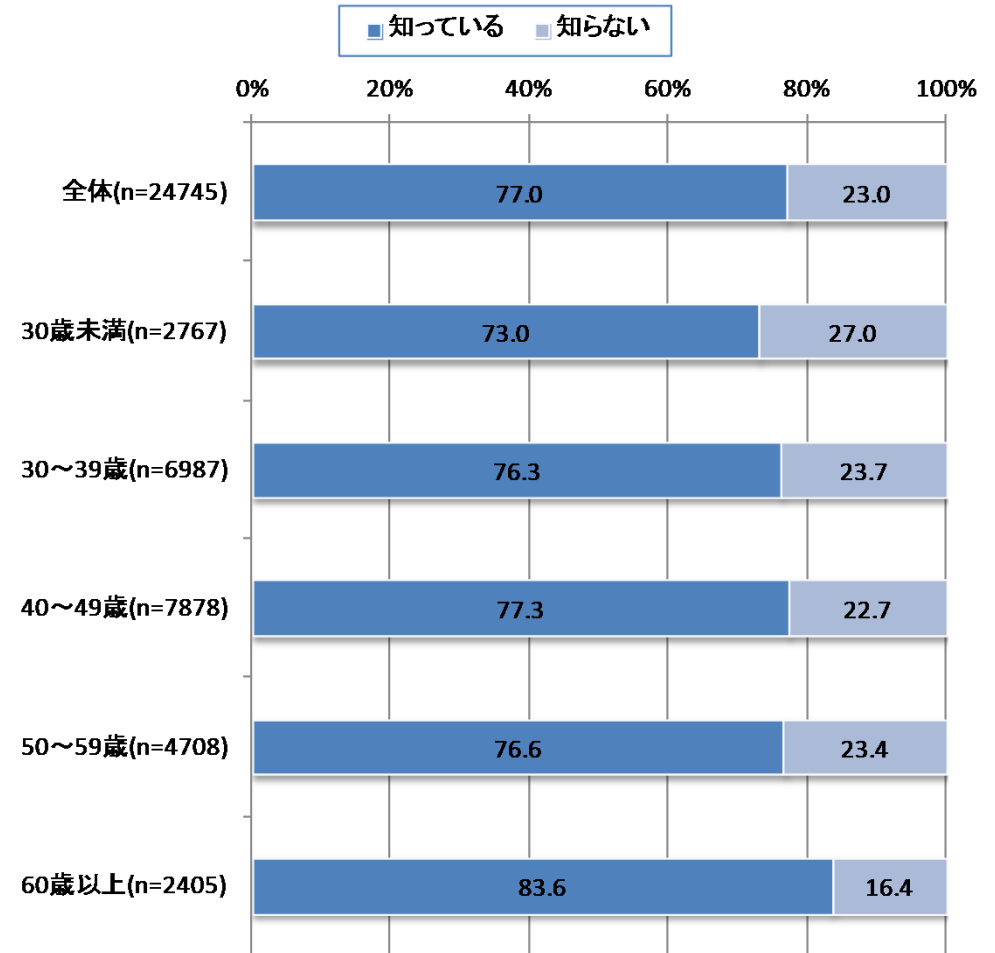
年齢

- 「40～49歳」(31.8%)が最も多く、以下「30～39歳」(28.2%)、「50～59歳」(19.0%)の順となっている。



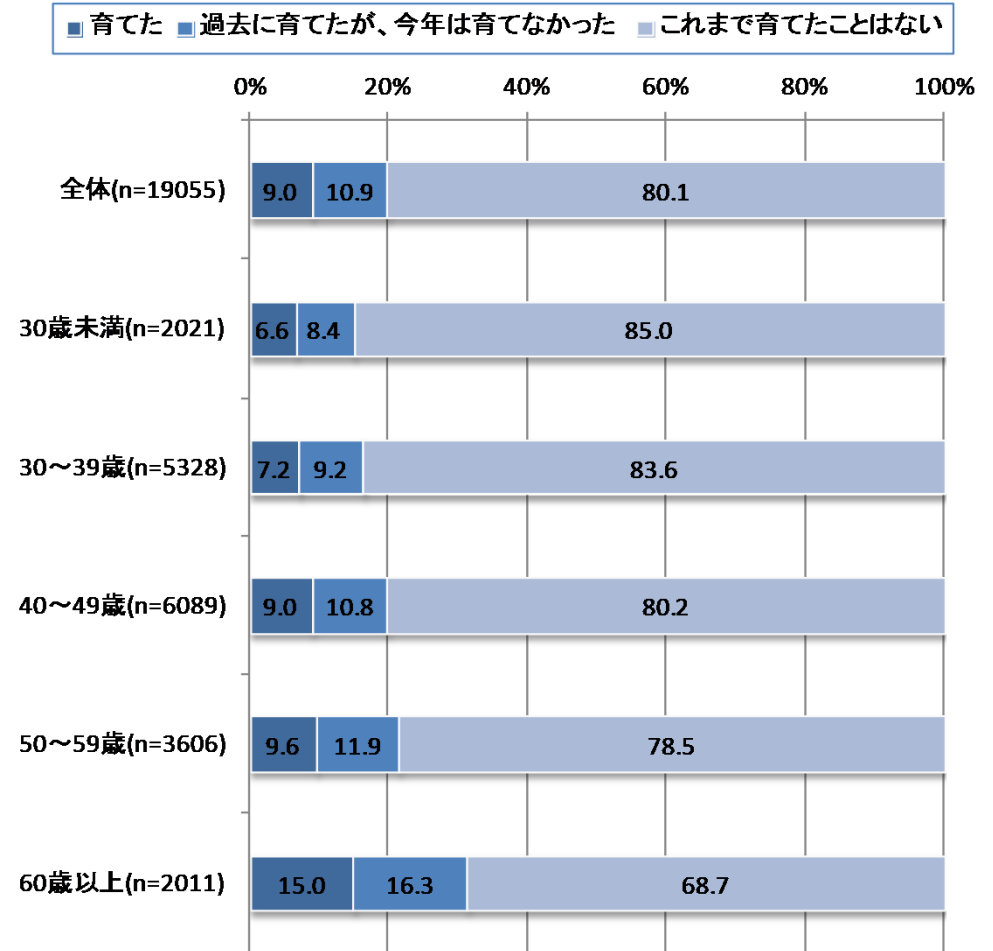
グリーンカーテンの認知度

- 全体では「知っている」が77.0%、「知らない」が23.0%となっており、グリーンカーテンの認知度は8割弱に上る。
- 年齢別では60歳以上のみ「知っている」が8割を超えており、他の年代より高くなっている。他の年代では大きな差は無い。



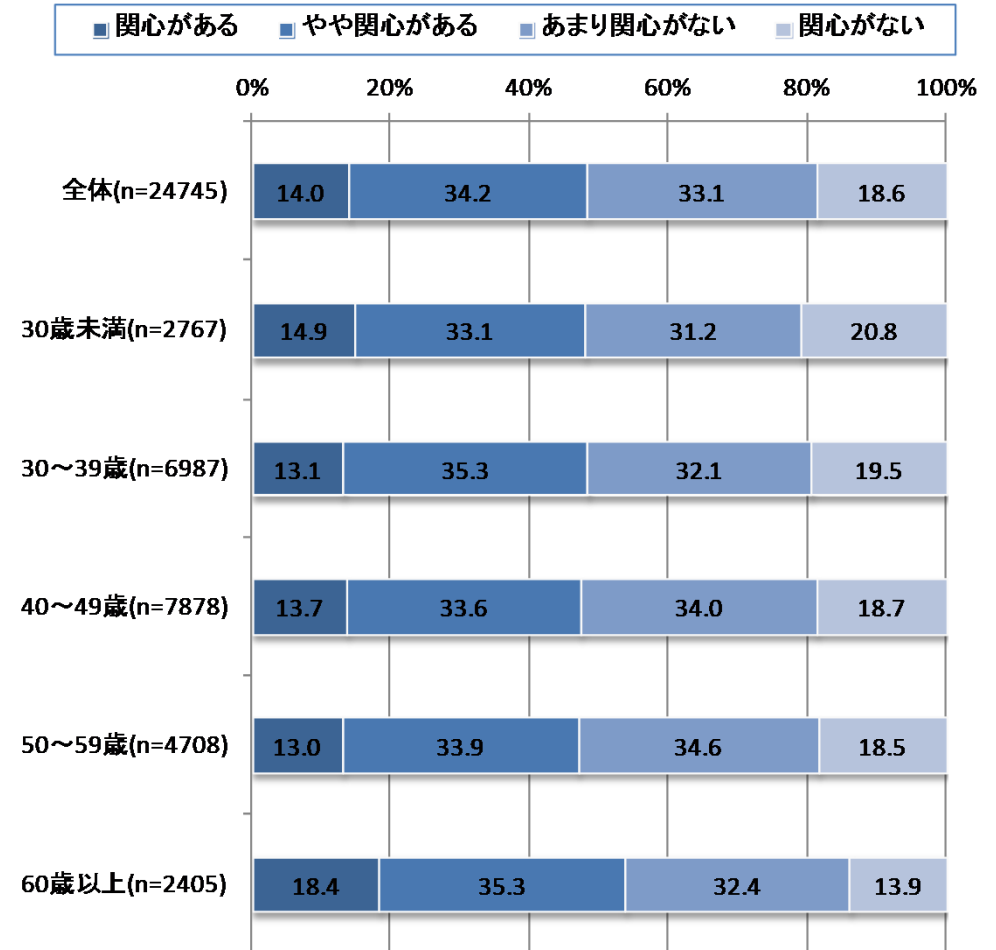
グリーンカーテンの育成有無

- 全体では「これまで育てたことはない」(80.1%)が最も多く、以下「過去に育てたが、今年は育てなかった」(10.9%)、「育てた」(9.0%)の順となっている。育てた経験のある回答者は約2割程度である。
- 年代別では、年代が高くなるにつれて「育てた」と「過去に育てたが、今年は育てなかった」の合計が多くなっており、最も多い60歳以上では合計が3割を超えている。



グリーンカーテンの関心有無

- 全体では「やや関心がある」(34.2%)で最も多く、以下「あまり関心がない」(33.1%)、「関心がない」(18.6%)、「関心がある」(14.0%)の順となっている。少しでも関心がある回答者は5割程度となっている。
- 年齢別では60歳以上のみ「関心がある」と「やや関心がある」の合計が5割を超えており、他の年代より高くなっている。他の年代では大きな差は無い。



IV. 2次調査の結果

IV-1. 2次調査 実施概要

実施概要

- 目的： 現在 (昨夏) のグリーンカーテン実施者、過去のグリーンカーテン実施者、グリーンカーテン未実施者に分けて、グリーンカーテン育成に関する意識を詳細に把握するために実施
- 実施期間： 2013/11/12～2013/11/15
- 対象： 全国の集合住宅居住者 (ただし、1次調査回答者から抽出)
- 回答数： 2,184人 (詳細は下表)
- 調査方法： インターネット調査

回答者の内訳

	グリーンカーテン実施有 (過去の実施者を含む)		グリーンカーテン実施無	
	分譲	賃貸	分譲	賃貸
北海道・東北・北陸	59	106	116	115
関東	180	155	168	170
中部・関西	179	145	173	170
中国・四国・九州・沖縄	114	104	114	116

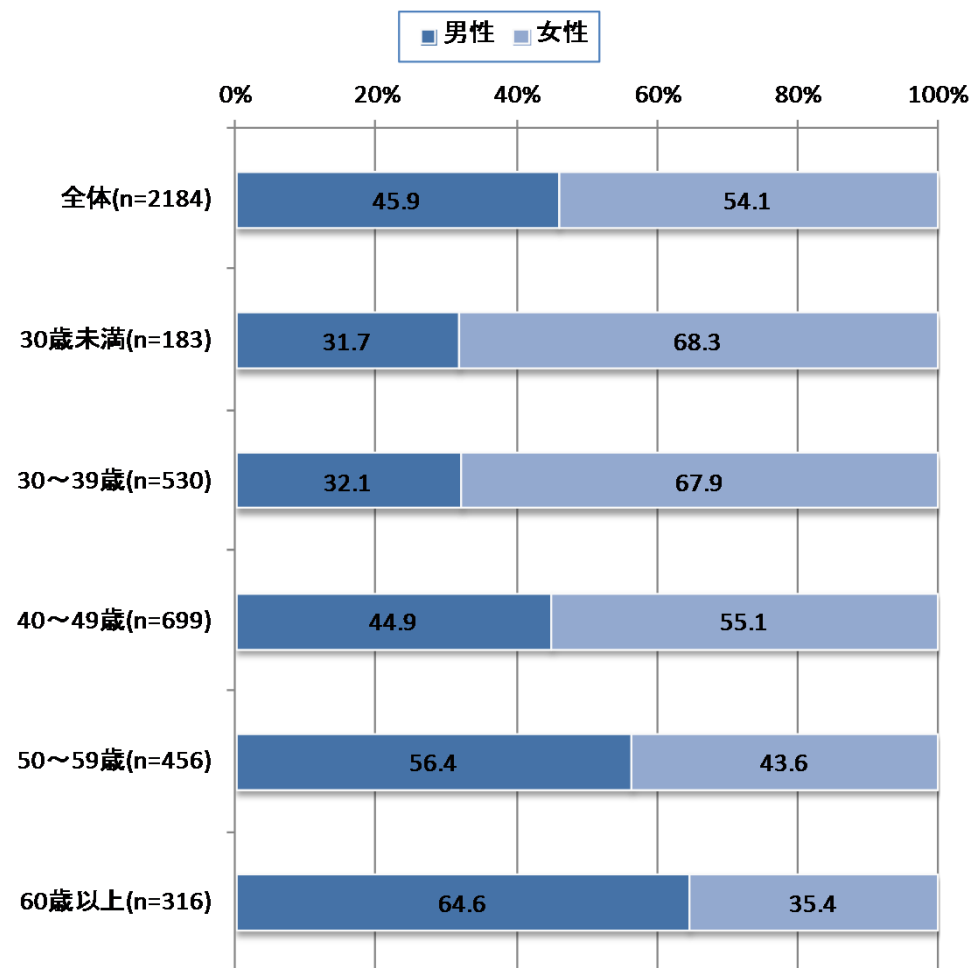
区分	実数	%
北海道・東北・北陸	396	18.1
関東	673	30.8
中部・関西	667	30.5
中国・四国・九州・沖縄	448	20.5
分譲	1103	50.5
賃貸	1081	49.5
実施経験有り	1042	47.7
実施経験無し	1142	52.3
全体	2184	100.0

IV-2. 2次調査 集計結果

(1) 全対象者

性別

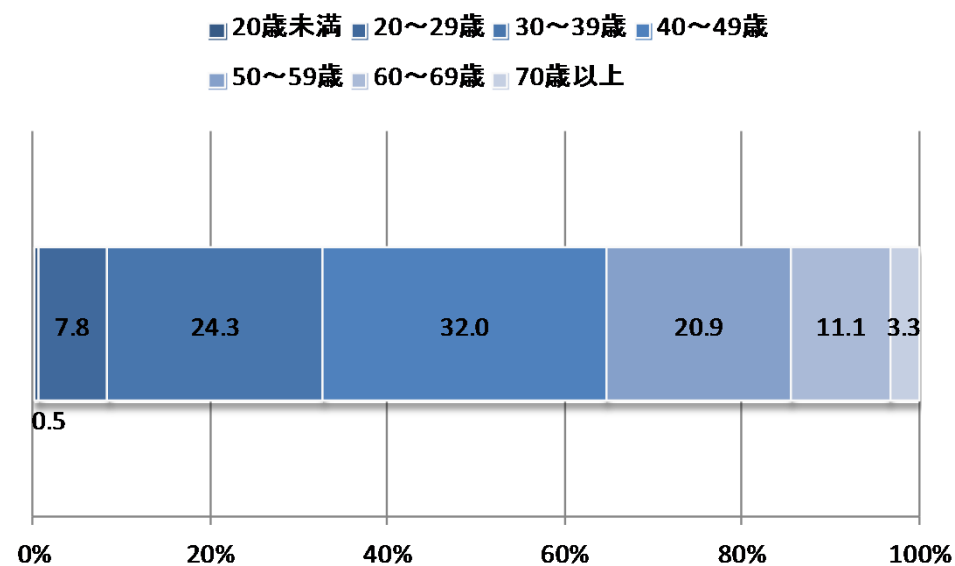
- 全体では男性が45.9%、女性が54.1%となっている。
- 年齢が上がるにつれて男性の割合が高くなっており、60歳以上では64.6%が男性となっている。



年齢

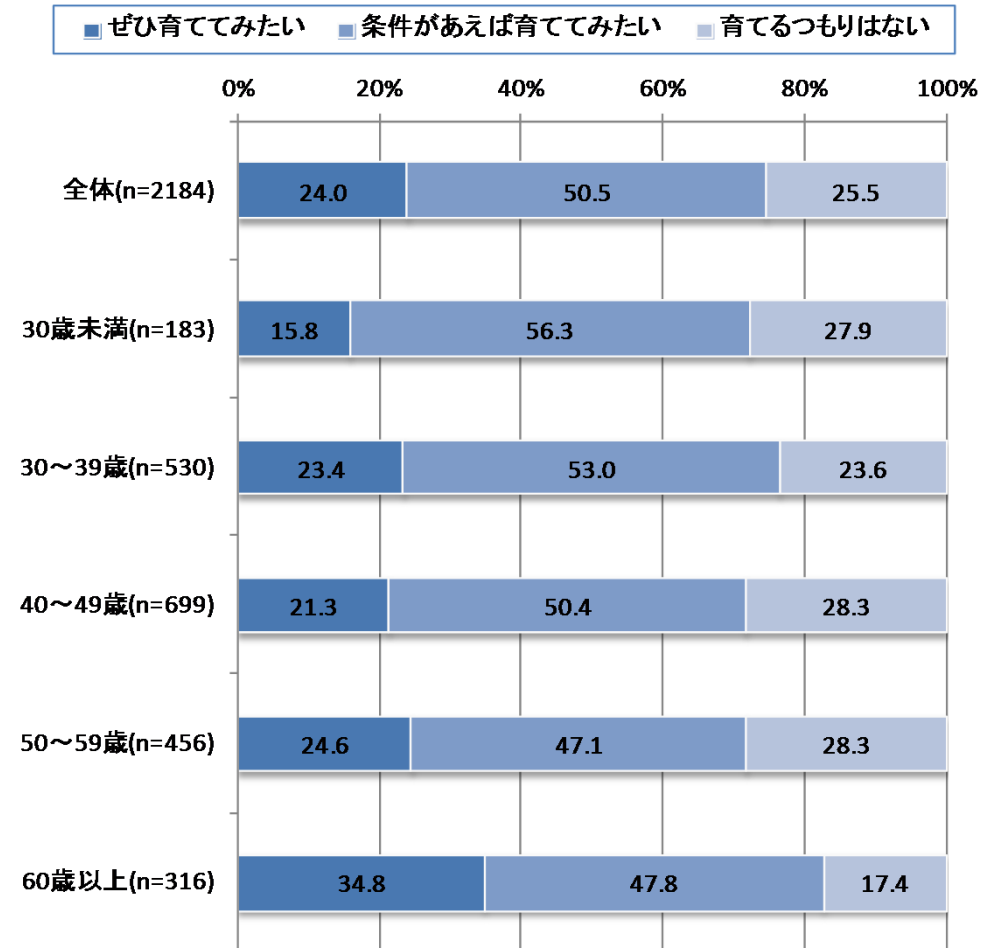
- 「40～49歳」(32.0%)が最も多く、以下「30～39歳」(24.3%)、「50～59歳」(20.9%)の順となっている。

n=2,184



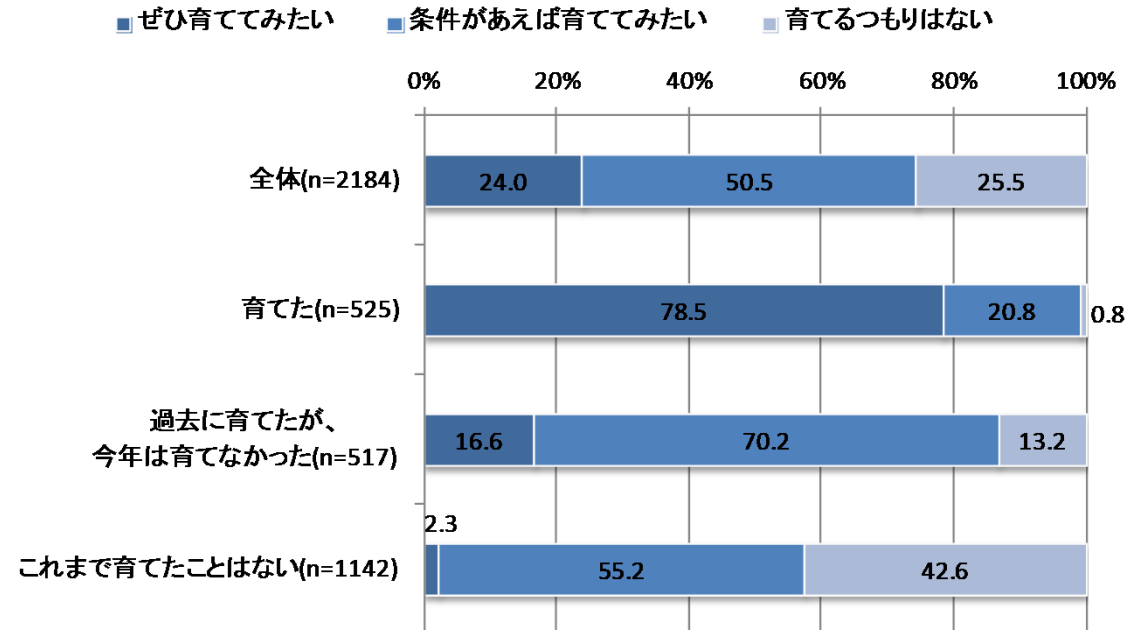
来夏のグリーンカーテンの育成意向(1)

- 全体では「条件があれば育ててみたい」(50.5%)が最も多く、以下「育てるつもりはない」(25.5%)、「ぜひ育ててみたい」(24.0%)の順となっている。グリーンカーテンを育てることに前向きな回答は75%に達している。
- 年代別では全ての年代で7～8割が「ぜひ育ててみたい」、「条件があれば育ててみたい」としているが、30歳未満と60歳以上で「ぜひ育ててみたい」の差が大きくなっている。



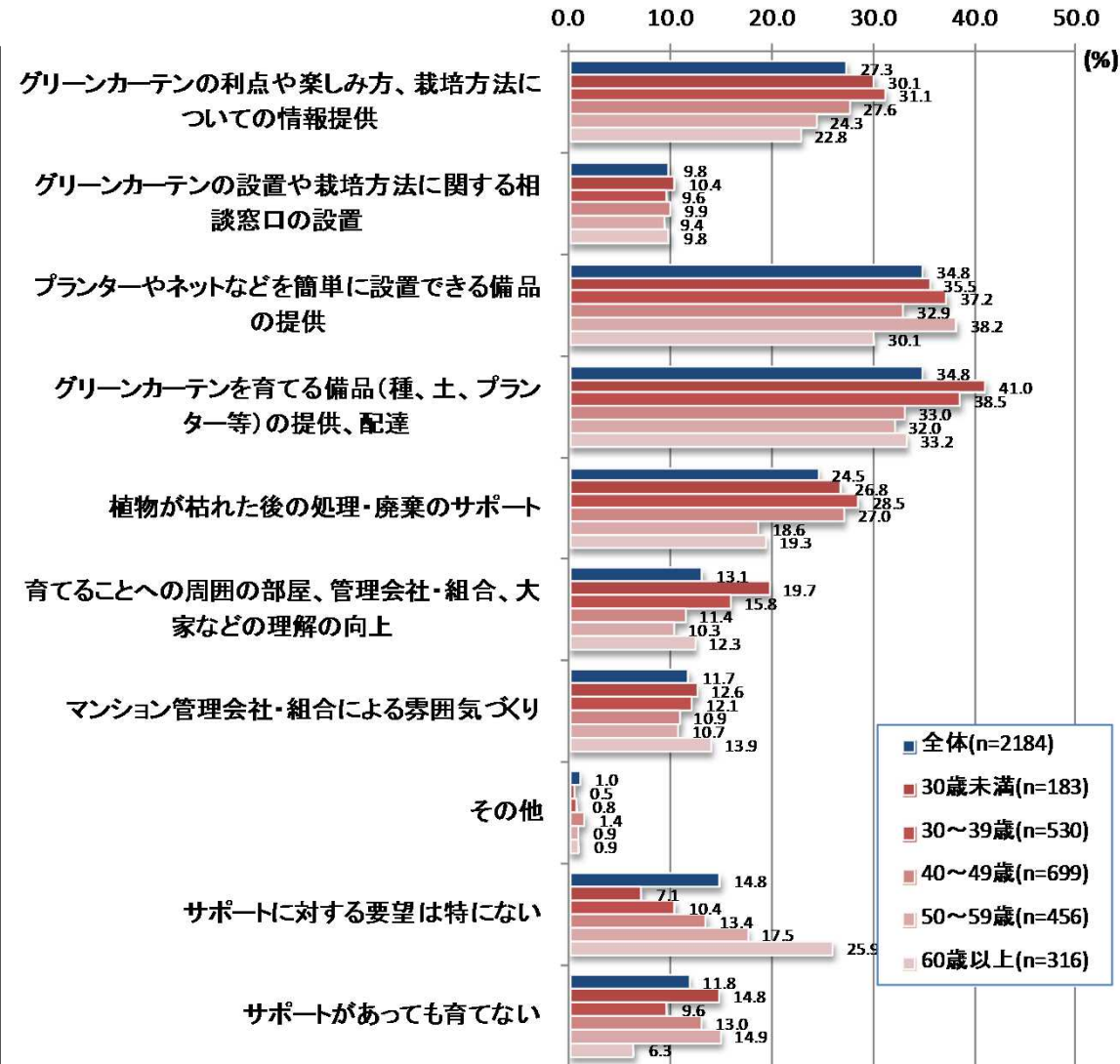
来夏のグリーンカーテンの育成意向(2)

- 来夏のグリーンカーテンの育成意向について、グリーンカーテン育成経験別に見ると、昨夏に育てた回答者では8割近くが来夏も「ぜひ育ててみたい」としており、「条件があれば育ててみたい」と合わせるとほぼ100%に達する。一方、過去に育てた人の約7割、これまで育てたことがない人の5割以上が「条件があれば育ててみたい」と回答しており、条件によりグリーンカーテンの実施を決める人が多いことが示唆された。



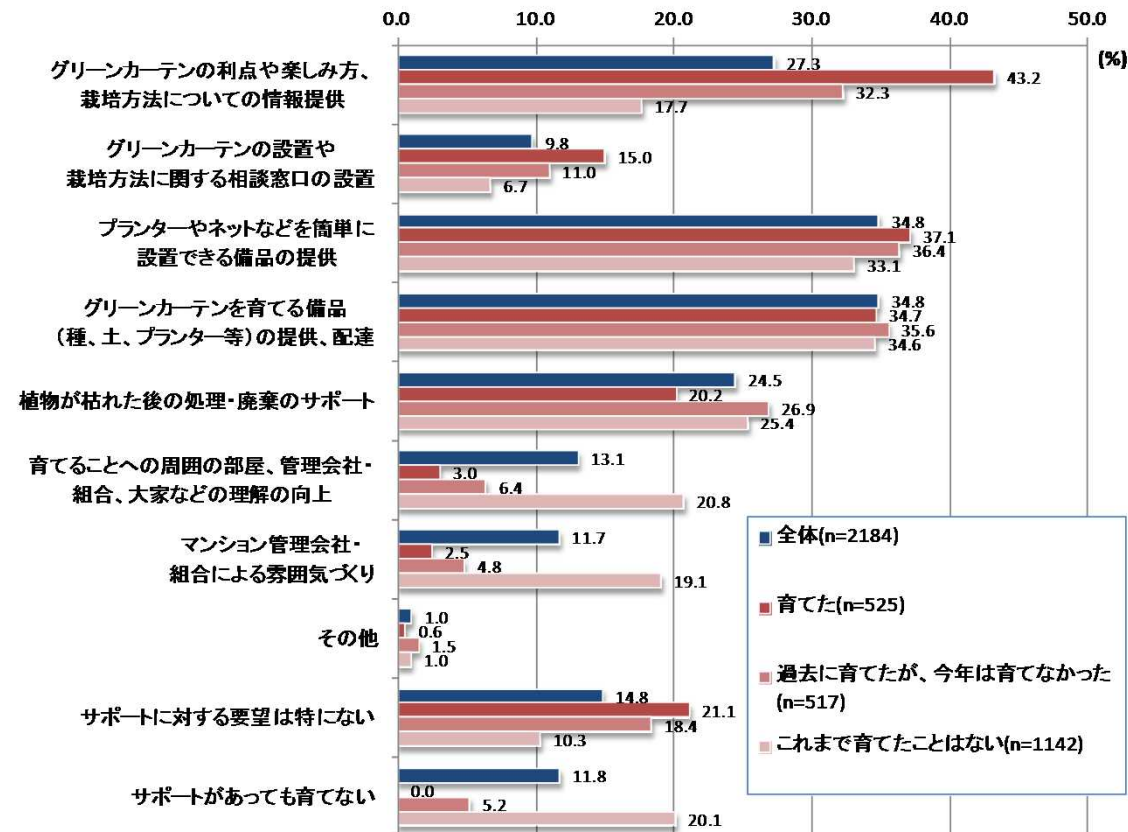
グリーンカーテン育成のための条件(複数選択)(1)

- 全体では「プランターやネットなどを簡単に設置できる備品の提供」(34.8%)と「グリーンカーテンを育てる備品(種、土、プランター等)の提供、配達」(34.8%)が最も多く、「グリーンカーテンの利点や楽しみ方、栽培方法についての情報提供」(27.3%)、「植物が枯れた後の処理・廃棄のサポート」(24.5%)の順となっている。資材や情報の提供が最も求められている条件であると考えられる。
- 年代別では、「植物が枯れた後の処理・廃棄のサポート」、「グリーンカーテンの利点や楽しみ方、栽培方法についての情報提供」、「グリーンカーテンを育てる備品(種、土、プランター等)の提供、配達」、「育てることへの周囲の部屋、管理会社・組合、大家などの理解の向上」は年代が高くなるほど回答が少なくなる傾向にある。一方で、「サポートに対する要望は特にない」は逆の傾向にあり年齢が高いほど回答が多くなっている。



グリーンカーテン育成のための条件(複数選択)(2)

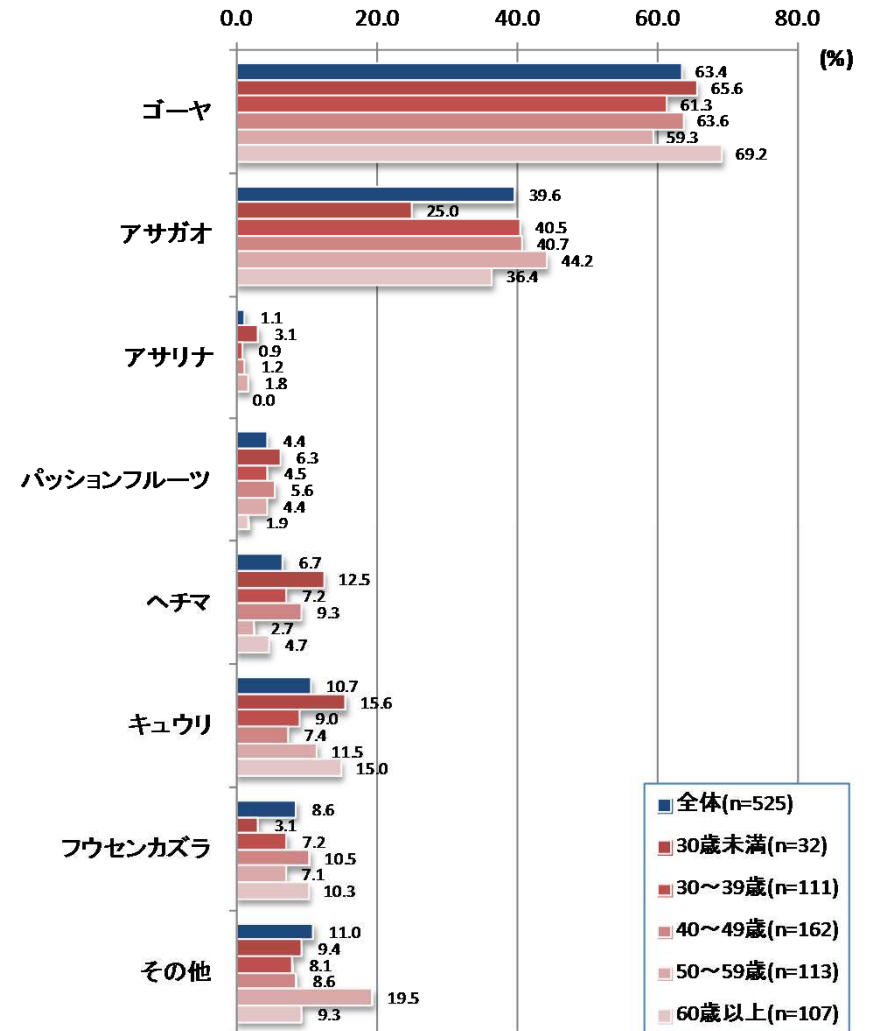
- グリーンカーテン育成のための条件について、グリーンカーテン育成経験別に見ると、昨夏育てた回答者では、「グリーンカーテンの利点や楽しみ方、栽培方法についての情報提供」が他の回答者を大きく上回っている。また、これまで育てたことがない回答者では、「育てることへの周囲の部屋、管理会社・組合、大家などの理解の向上」、「マンション管理会社・組合による雰囲気づくり」が他の回答者より高い。



(2) 昨夏のグリーンカーテン実施者

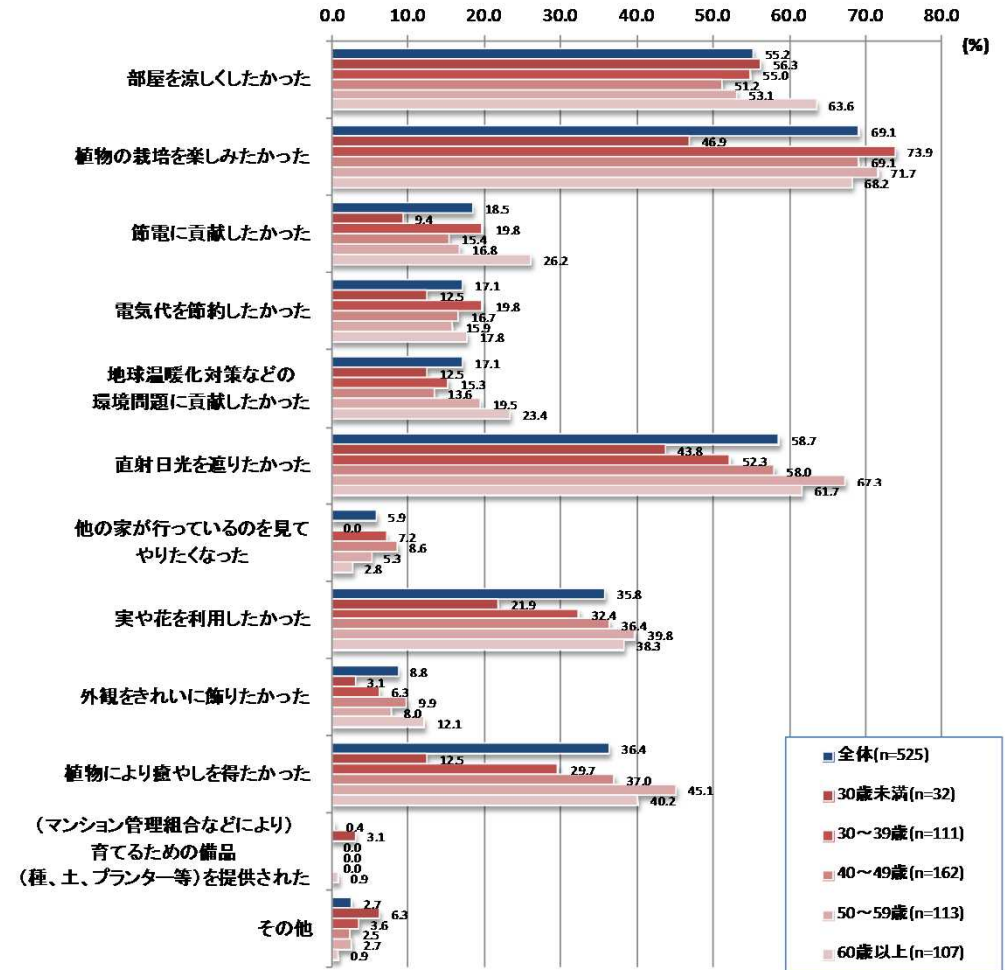
育てた植物種 (複数選択)

- 昨夏のグリーンカーテン実施者については、全体では「ゴーヤ」(63.4%)が最も多く、以下「アサガオ」(39.6%)、「その他」(11.0%)の順となっている。ゴーヤとアサガオが圧倒的に多くなっている。
- 年代別ではゴーヤとアサガオが多いのは全体と同じ傾向であるが、30歳未満についてはアサガオが25.0%で他の年代よりも低くなっている。



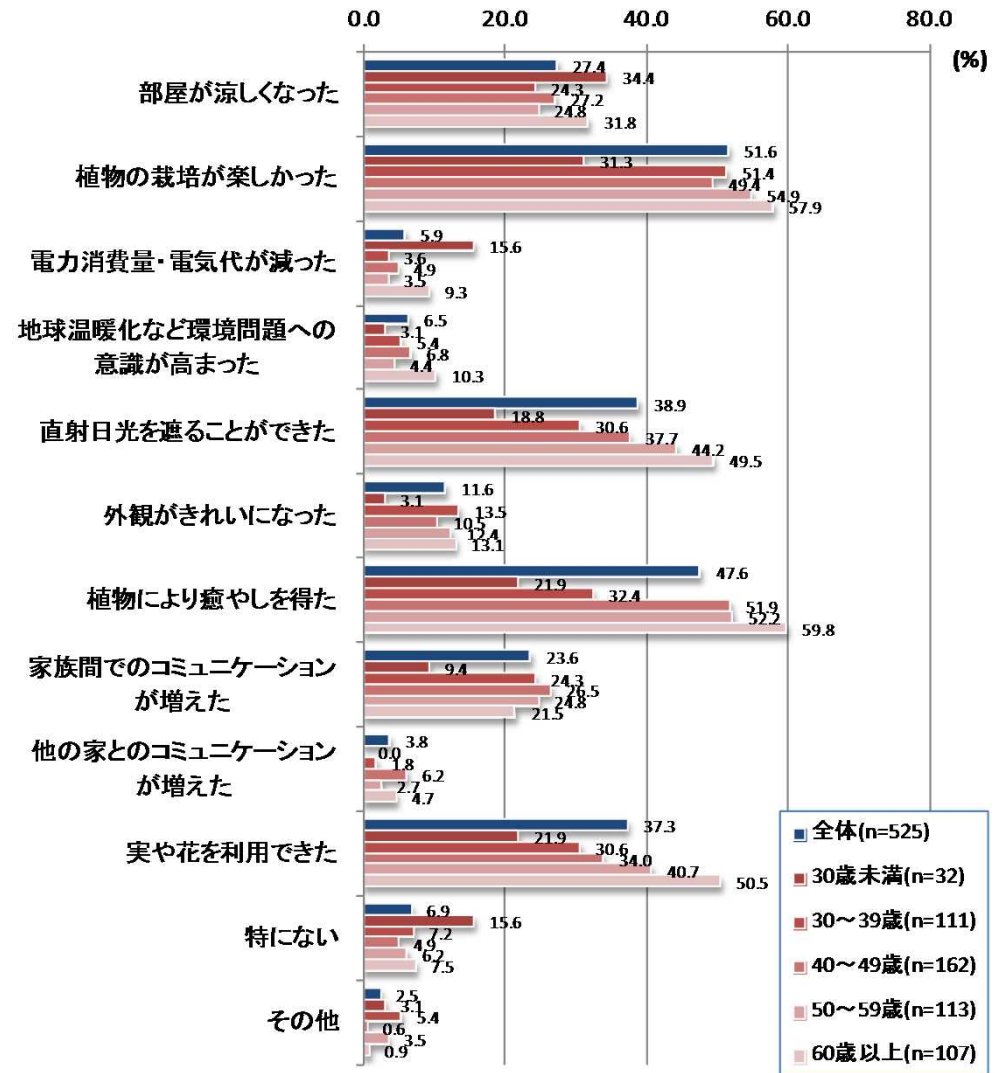
グリーンカーテンを始めた理由(複数選択)

- 昨夏のグリーンカーテン実施者については、全体では「植物の栽培を楽しみたかった」(69.1%)が最も多く、以下「直射日光を遮りたかった」(58.7%)、「部屋を涼しくしたかった」(55.2%)の順となっている。節電や環境問題への貢献より、生活面での利点に関する理由が多くなっている。
- 年代別では、30歳未満以外では「植物の栽培を楽しみたかった」が最も多くなっている。また、「直射日光を遮りたかった」、「植物により癒やしを得たかった」は、50代、60歳以上の回答が30歳未満、30代と比べて多くなっている。



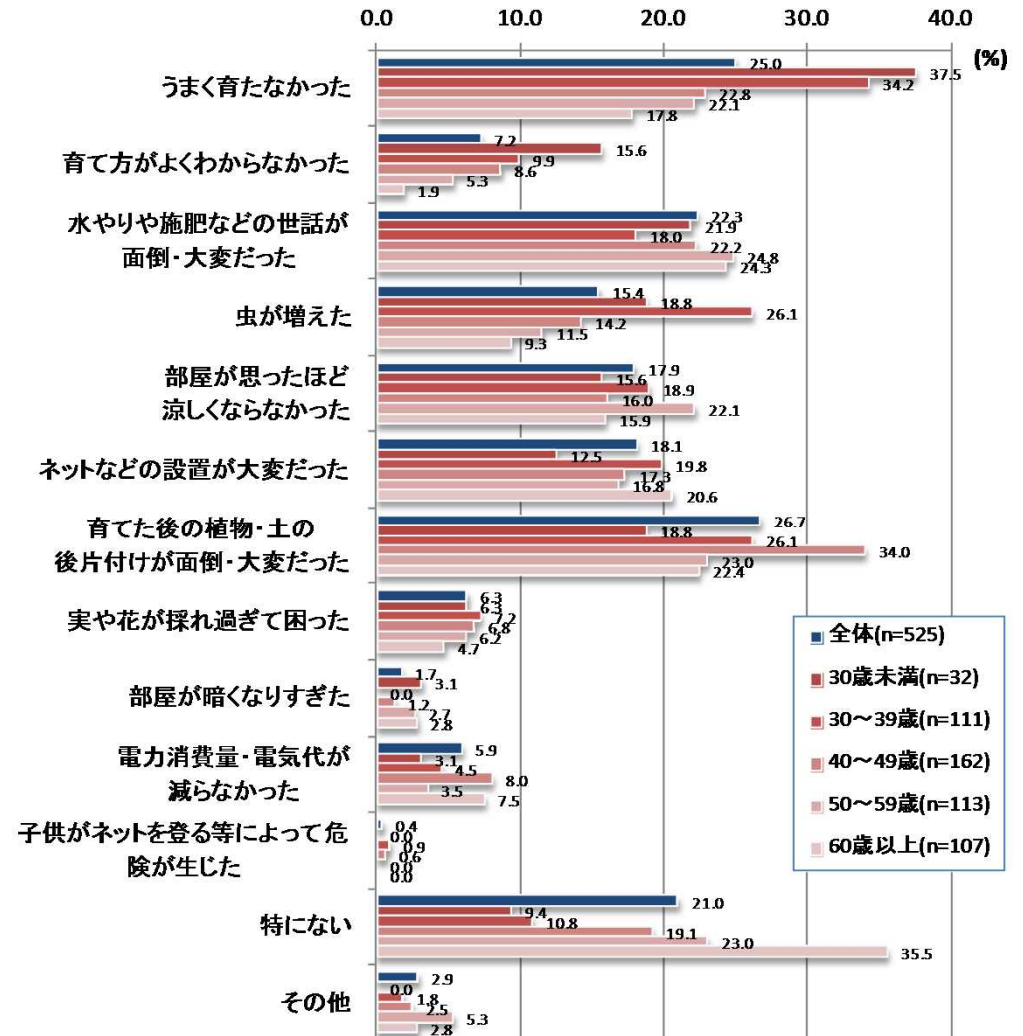
グリーンカーテンを育てて良かった点(複数選択)

- 昨夏のグリーンカーテン実施者については、全体では「植物の栽培が楽しかった」(51.6%)が最も多く、以下「植物により癒やしを得た」(47.6%)、「直射日光を遮ることができた」(38.9%)、「実や花を利用できた」(37.3%)の順となっている。節電の効果より、楽しみなどの精神的な満足感や生活面での効果が多く挙げられている。
- 年代別では、30歳未満以外は「植物の栽培が楽しかった」、「植物により癒やしを得た」、「直射日光を遮ることができた」、「実や花を利用できた」が多い傾向にある。これらは50代、60歳以上の回答が30歳未満、30代と比べ多くなっている。一方で30歳未満では、「部屋が涼しくなった」が最も多くなっており、「電力消費量・電気代が減った」、「特にない」が他の年代に比べ多い。



グリーンカーテンを育てて困った点・煩わしかった点(複数選択)

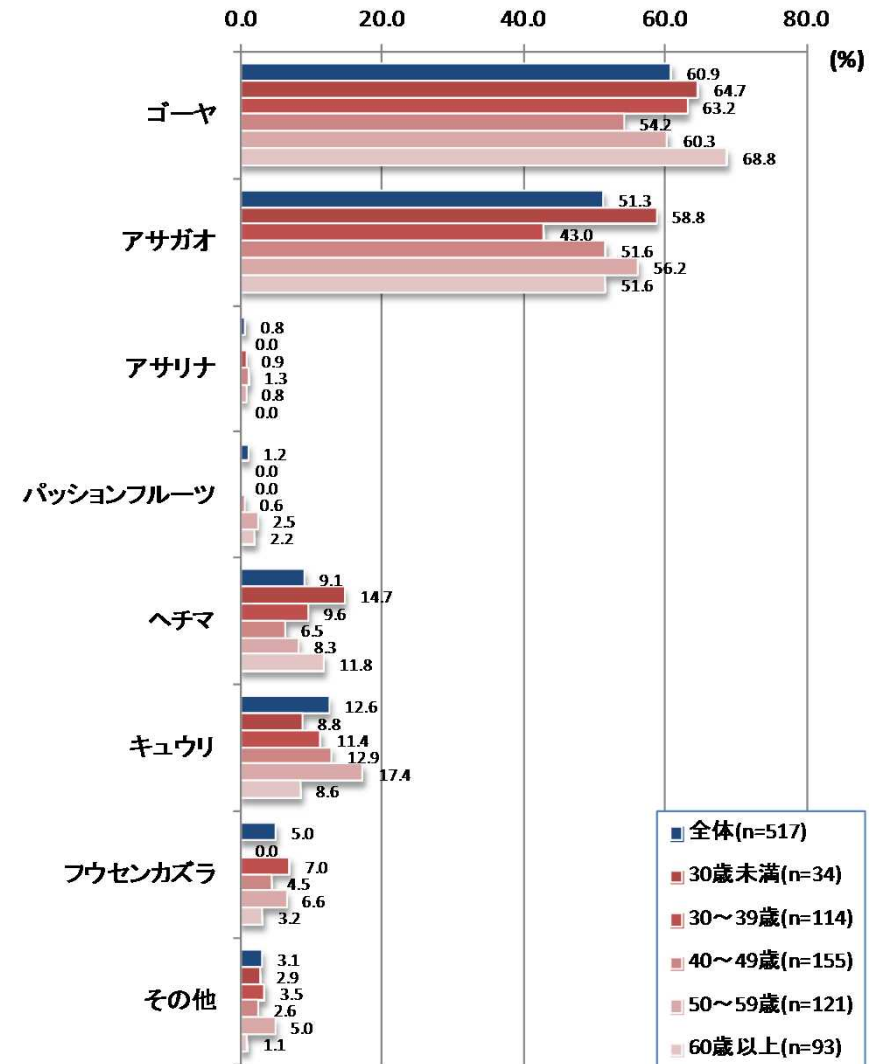
- 昨夏のグリーンカーテン実施者については、全体では「育てた後の植物・土の後片付けが面倒・大変だった」(26.7%)が最も多く、以下「うまく育たなかった」(25.0%)、「水やりや施肥などの世話が面倒・大変だった」(22.3%)の順となっている。「特にない」も21.0%と多くなっている。うまく育たなかったことのほか、世話や後片付けの大変さが多く挙げられている。
- 年代別では、「水やりや施肥などの世話が面倒・大変だった」は年代別の差が小さいが、「うまく育たなかった」は30歳未満、30代が多く、「育てた後の植物・土の後片付けが面倒・大変だった」は40代が多いのが特徴的である。「特にない」は年代が高くなるにつれ回答も多くなっているが、「育て方がよくわからなかった」はその逆の傾向がある。



(3) 過去のグリーンカーテン実施者

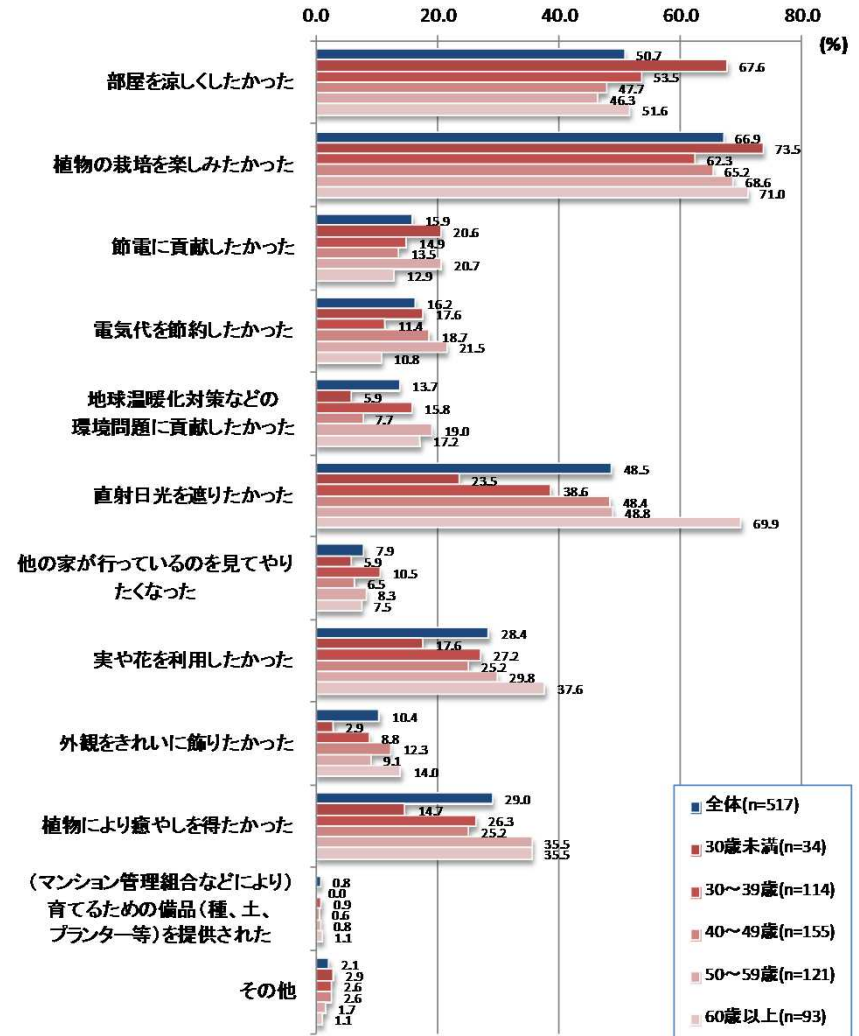
育てていた植物種 (複数選択)

- 過去のグリーンカーテン実施者については、全体では「ゴーヤ」(60.9%)が最も多く、以下「アサガオ」(51.3%)、「キュウリ」(12.6%)の順となっている。ゴーヤとアサガオが圧倒的に多くなっている。
- 年代別ではゴーヤとアサガオが多いのは全体と同じ傾向であるが、30代についてはアサガオが43.0%で他の年代よりやや低くなっている。



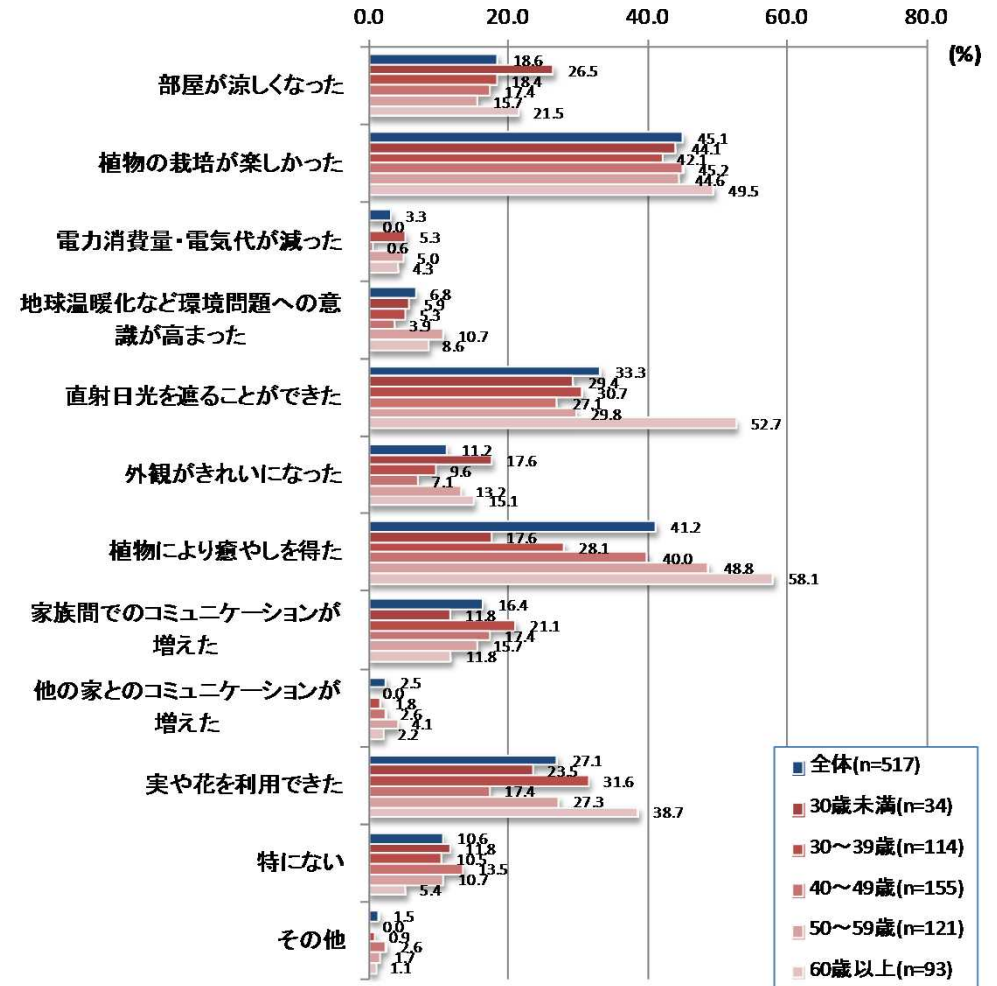
グリーンカーテンを始めた理由(複数選択)

- 過去のグリーンカーテン実施者については、全体では「植物の栽培を楽しみたかった」(66.9%)が最も多く、以下「部屋を涼しくしたかった」(50.7%)、「直射日光を遮りたかった」(48.5%)の順となっている。節電や環境問題への貢献より、生活面での利点に関する理由が多くなっている。
- 年代別では、「直射日光を遮りたかった」、「植物により癒やしを得たかった」は、50代、60歳以上の回答が30歳未満、30代と比べて多くなっている。



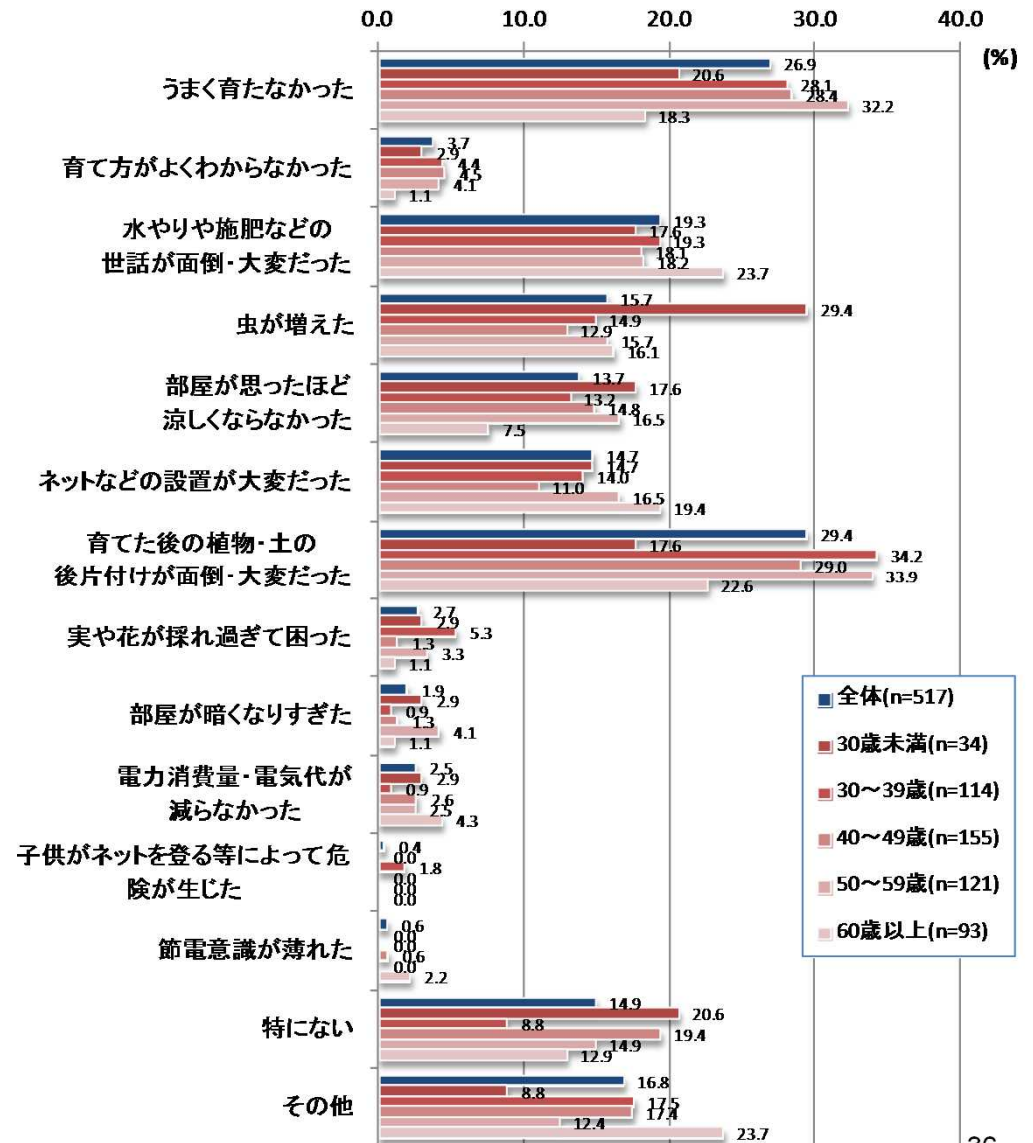
グリーンカーテンを育てて良かった点(複数選択)

- 過去のグリーンカーテン実施者については、全体では「植物の栽培が楽しかった」(45.1%)が最も多く、以下「植物により癒やしを得た」(41.2%)、「直射日光を遮ることができた」(33.3%)、「実や花を利用できた」(27.1%)の順となっている。節電の効果より、楽しみなどの精神的な満足感や生活面の効果が多く挙げられている。
- 年代別では、60歳以上で「植物により癒やしを得た」、「実や花を利用できた」が特に多くなっている。また、「植物により癒やしを得た」は年代が高くなるにつれて回答も多くなっている。一方、30歳未満では、「部屋が涼しくなった」が他の年代より多くなっている。



グリーンカーテンを止めた理由(複数選択)

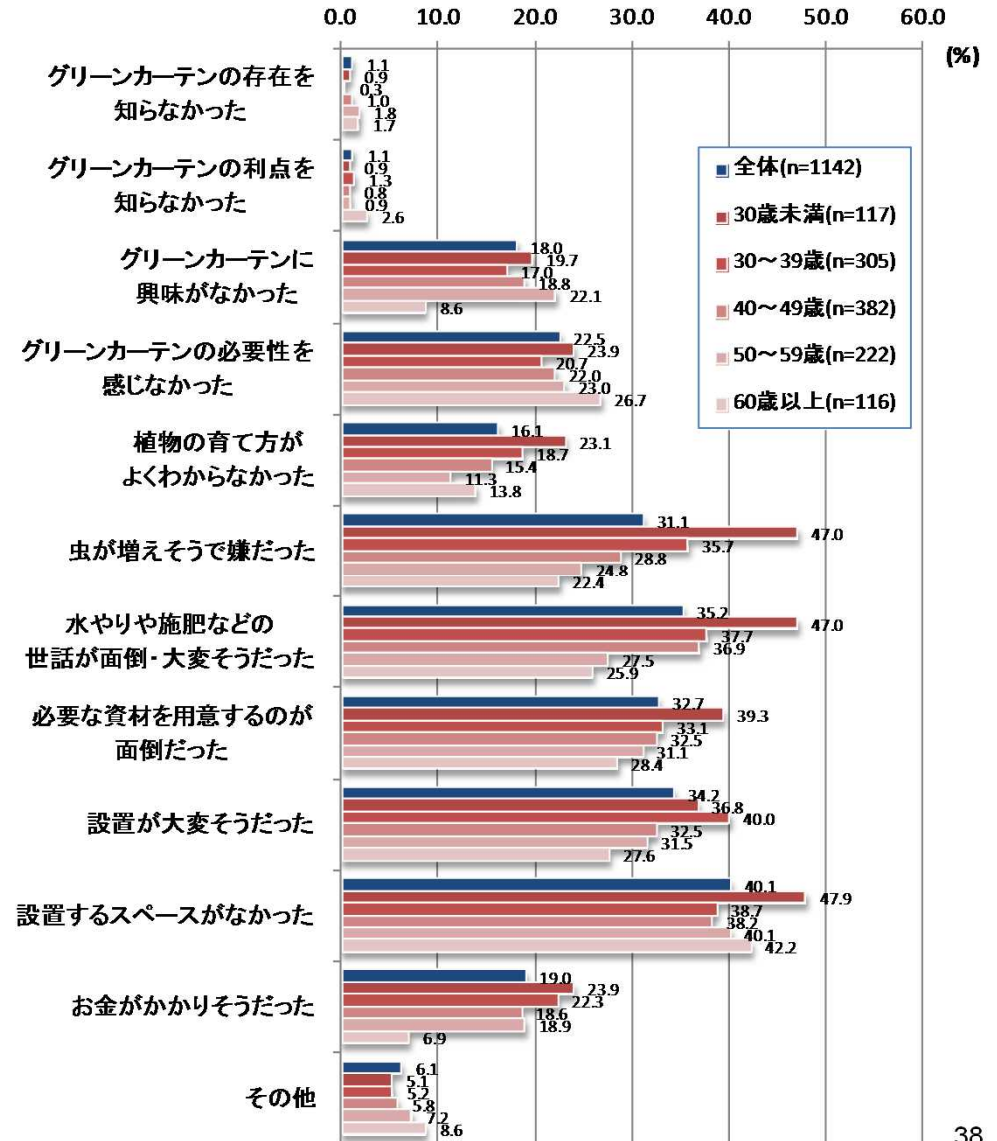
- 過去のグリーンカーテン実施者については、全体では「育てた後の植物・土の後片付けが面倒・大変だった」(29.4%)が最も多く、以下「うまく育たなかった」(26.9%)、「水やりや施肥などの世話が面倒・大変だった」(19.3%)の順となっている。うまく育たなかったことのほか、世話や後片付けの大変さが多く挙げられている。
- 年代別では、30歳未満は「虫が増えた」が最も多くなっている。「水やりや施肥などの世話が面倒・大変だった」は年代別の差が小さいが、「うまく育たなかった」、「育てた後の植物・土の後片付けが面倒・大変だった」は30～50代で多い傾向にある。また、「その他」が60歳以上で多いのも特徴的である。



(4) グリーンカーテン未実施者

グリーンカーテンを育てない理由(複数選択)

- 全体では「設置するスペースがなかった」(40.1%)が最も多く、以下「水やりや施肥などの世話が面倒・大変そうだった」(35.2%)、「設置が大変そうだった」(34.2%)、「必要な資材を用意するのが面倒だった」(32.7%)の順となっている。興味・情報の不足やコストより、設置時・育成時に発生する問題や手間・煩雑さなどが多く挙げられている。
- 年代別では、「水やりや施肥などの世話が面倒・大変そうだった」、「設置が大変そうだった」、「虫が増えそうで嫌だった」は年代が低くなるにつれ回答が多くなる傾向にある。



育ててみたいグリーンカーテンの種類（複数選択）

- グリーンカーテン未実施者の育ててみたいグリーンカーテンの種類は、全体では「アサガオ」(38.1%) が最も多く、以下「キュウリ」(37.7%)、「ゴーヤ」(35.6%) の順となっている。実際に育てられているものと異なり、キュウリが多くなっている。
- 年代別では、60歳以上で、「アサガオ」、「ヘチマ」が他の年代に比べて多くなっている。また、「特になし」という回答が40代、50代で多くなっている。40代、50代は「アサガオ」、「ゴーヤ」の回答が他の年代に比べて低いという特徴もある。

